

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 **留萌ロータリークラブ**

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

- 本日
「我が生い立ち Part 2」 高田 潔 会員 結婚記念日
5月16日 清水 陸
5月18日 古野 晃洋
- 次週予定
来賓卓話「留萌・深川間高規格道路について」
留萌開発建設部 次長 関 新次様

No. 2605
第42回 5月14日

出席報告

前
例
会

会員総数	41名
出免会員	8名
出免出席	5名
基準会員出席	22名
出席率	75.00%

前
々
会

第39回	4月16日
欠席会員	13名
内メイクアップ	8名
修正出席率	91.66%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 5月1日に第11回定例理事会及び第6回クラブ協議会を開催し、5月6月の例会プログラムを承認いたしました。
- 先月4月26日に羽幌町において第1グループ会長幹事会が開催されました。IMのプログラムと次第が決定されました。
- 留萌市明るい選挙推進協議会より委員の推薦願があり、行徳幸治会員に引き続きお願いし、承諾をいただきました。

📁 幹事報告

- 羽幌RCより会報No.1679~1682号及び5月の例会案内を受領しました。
- 深川RCより会報No.2661~2664号及び5月の

例会案内を受領しました。

- 芦別RCより会報No.2731~2734号を受領しました。

📄 3分間情報

会員研修委員会 阿部委員長
「雑誌月間」

4月は雑誌月間にあたります。雑誌に対する会員の認識を高め、それによってロータリー情報の普及をはかる事ができるプログラムを行なうこと、とされています。

人によって、読み方は色々あると思います。隅から隅まで漏らさず読む方、好きなコーナーだけ読む方、義務だから仕方なく読むという方もいるでしょうか。

私は配布された例会内にサラリ読む程度の読

み方しかしておりませんでした。昨年7月からは三分間情報のヒントを探る為に、まず横書きの記事を読むようにまりました。丁寧に読んでみると、他にも好奇心をくすぐる記事が多くあるので、毎月楽しみにしているコーナーが多くなってきております。

「心は共に」というコーナーでは、東日本大震災の復興の様子がマスメディアではなかなか伝わらない部分まで知る事が出来ます。「卓話の泉」は、各クラブの会報や週報に掲載されている卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ情報となるものなどが選ばれて掲載されているコーナーですが、専門家による専門的なお話なのに私どもにも非常にわかりやすくなっております。多くの職業の方が集まるロータリークラブなので、卓話する側も過度に専門的な言葉づかいをしない為と思いますが、非常に多くの卓話の中から厳選されているだけあって、とても興味深い内容のものが多いです。

最近よく読むようになったコーナーについてお話をしたいと思います。

去年から始まった「わがまち・・・そしてロータリー」というコーナーです。

これは外部の記者・カメラマンが取材を行っており、1人のロータリアンにスポットを当てて、その人と社会のつながり、町にインパクトを与える働き等が紹介されております。外部の記者・カメラマンの記事という形式は、2004年

に連載開始のロータリアン個人への取材がメインだった「風紋」から始まっております。続いてクラブを紹介する「手に手 クラブ探訪」に変え、その後「この人 この仕事」でロータリアン個人と職業にスポットを当てるコーナーになりました。そして昨年10月からは、「わがまち・・・そしてロータリー」。個人の、よりダイナミックな活躍ぶりを紹介できるよう、切り口を変えながら、ロータリアンが行う働きを追う内容になっております。

ロータリアンやロータリークラブを客観的に見ているので、あらためてロータリークラブの良さを知る機会になっているように感じられて、読むのが楽しみなコーナーです。

「ロータリーの友」は機関誌ですが、一般的には雑誌、マガジンです。英語で言うところのマガジンはアラビア語の「倉庫」が語源となっているそうです。情報の詰まったこの「倉庫」から何を読み、何を学び、何を感じるかは会員個人の自由。というより自由度の大きな自由課題のようなものなのかな、とあらためて感じております。



ニコニコBOX

累計 699,600円



プログラム 移動例会「お花見例会」 神居岩公園





旗の波運動

平成26年4月7日(月) / 社会奉仕委員会



ロータリーの情報はどこから？

ひと言で「ロータリーの情報」と言っても、ロータリーの規則、歴史、国際ロータリー（R I）の動き、ロータリークラブの活動など、さまざまなものがあります。

「例会は大事だから、休んだ時には必ずメイクアップを」と先輩会員から言われている新会員の皆さまにとって、いつ、どこで例会が開催されているのかということが、関心事の一つかもしれません。

国内のロータリークラブの例会を検索するには、『Rotary Japan』www.rotary.or.jp がお役に立ちます。「クラブ例会」をクリックすると地図が出てきますから、地区番号をクリックしてください。曜日別の一覧表が出てきます。ホームページを開設しているクラブは、その一覧表からホームページを開くことができます。「HPへ」をクリックしてください。また、海外のロータリークラブの場合はR Iのウェブサイト www.rotary.org の右上にある「クラブ所在地検索」で検索してください。『公式名簿（OFFICIAL DIRECTORY）』（クラブ事務局に備えてあります）で調べることもできます。

ロータリーに関する基本的な知識を得たい方は、『Rotary Japan』かR Iのウェブサイトにもいろいろな資料が掲載されています。『Rotary Japan』の「ロータリー関連資料」には、歴代のR I会長の名前と写真、R Iテーマ、国際大会の開催地と参加人数、国内地区の会員数・クラブ数の一覧表などが掲載されています。R Iのウェブサイトの「会員アクセス」では、自分がロータリー財団にどれくらい寄付したのかを確認することができます（2012年『友』誌10月号本欄をご参照ください）。

クラブの活動やロータリアンの考えを知るのには、手前味噌ですが、何と言っても『ロータリーの友』がイチバンです。日本中のロータリークラブから寄せられた活動報告が毎月いっぱい掲載されていますが、それらは皆さまの仲間たちの記録です。これらの記事から、クラブの活動に参考になるもの、ロータリーを知るのに役立つものも多いと思います。毎月届く『友』誌の隅々にまで目を通すのは大変ですが、いつも手元に置いて少し時間がある時に読んでみてください。

『ガバナー月信』や地区のウェブサイトは、身近な情報を得るために欠かすことのできないものです。地区によって作り方は異なりますが、地区内の行事をはじめ、地区内のさまざまな情報が掲載されています。

『クラブ会報』は、仲間の状況を知ったり、クラブの行事を知ったり、クラブ内のさまざまな情報を提供してくれます。しかし、クラブのことに関して言えば、例会に勝る情報源はありません。会長のあいさつ、幹事や委員長の報告など、クラブに関する大切な情報を知ることができますが、何より、仲間たちの状況を直接知ることができるからです。

ユーチューブには、クラブや地区から投稿された、たくさんの活動が掲載されていますので、のぞいてみてください。

さて、新しいメディアとしては、フェイスブックやツイッターがあります。これらのツールを使って情報発信をしているクラブや地区も増えてきました。田中作次R I会長もフェイスブックに訪問先の写真や出来事を掲載しています。

個人的にも、フェイスブックにロータリーに関する自らの活動や、経験したことを掲載しているロータリアンが増えてきました。これらのツールを活用すると、同じロータリアンと言ってもなかなか知り合うことのできない人たちと知り合いになることができ、情報交換ができるようになります。

R Iでは、これらの新しいメディアを公共イメージの向上に役立てるよう奨励しています。新会員の皆さま、先輩会員にはない新鮮な感覚でロータリーを伝えてください。

編集長 二神 典子

